

将来の第2版に向けての変更のアイデア4

<<第5章>>

(1) p55の密度行列要素の表記を統一するために、下から4行目の $\overline{c_m^* c_n}$ を $\overline{c_n c_m^*}$ に変更する。

(2) P61の本文の最後の箇所に以下の注を付ける。

「数学的には $U_0(t) = 1$ となるタイミングで観測をするということになる。その周期はゼーマン周波数の逆数なので、通常NMR観測のタイムスケール(FIDの観測間隔はせいぜい $0.5 \mu\text{s}$)よりうんと短い。従って、通常の実験における観測では $U_0(t) = 1$ が満たされていると考えて良い。」